

2022年5月23日

泌尿器科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 筋層浸潤性膀胱癌に対する術前短期 dd-MVAC 療法の検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長・三木 崇範

[研究責任者所属・名] 香川大学医学部泌尿器科学・杉元幹史

[研究の目的] 筋層に浸潤している膀胱癌(筋層浸潤性膀胱癌)の治療においては手術前に化学療法を行うことで再発率が低下することがわかっており推奨されています。しかし、ガイドラインで推奨されている化学療法の方法(2週間1コースを計6コース)は有害事象が多く、予定のコース数を完遂できない患者さんが多いことが課題となっています。本研究は、術前化学療法の期間を短縮(2週間1コースを計2コース)することで、同等の有効性とより高い安全性が確保できるかを検討することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2015年1月から2021年5月までに当院にて筋層非浸潤性膀胱癌の患者さんに対し術前化学療法後にロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘術を施行した29名

○利用する診療情報

年齢、性別、Tステージ、病理診断(組織診・深達度・悪性度)、有害事象の有無、治療効果(病理診断)、膀胱癌の再発の有無

[研究組織]

- ・研究責任者所属・役職・名：香川大学医学部泌尿器科学・教授・杉元幹史
- ・研究分担者所属・役職・名：香川大学医学部附属病院泌尿器・副腎・腎移植外科
・助教・松岡祐貴

[情報の管理について責任を有する者]

香川大学医学部附属病院泌尿器・副腎・腎移植外科・助教 松岡祐貴

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川大学医学部附属病院泌尿器・副腎・腎移植外科

担当医師 松岡祐貴（まつおかゆうき）

住所 香川県木田郡三木町池戸 1750-1 電話 087-8912-2202, FAX 087-891-2203（直通）